

集団効力感

～ 青豊の 僕達 私達は すごいんだ ～

ある人が自分の所属する集団を問題解決において
有能と信じること
問題解決はメンバーの継続的かつ協力的努力の結果
であると認識すること



集団効力感を感じている子どもで構成された集団は
コミュニケーションや問題解決において優れている



紅組の笑顔

5月26日(土) 五月晴れ。運動会にお出でいただき、子ども達に最後まで御声援をありがとうございました。最高の運動会になりましたこと、感謝申し上げます。

幼稚部から高等部まで、それぞれの発達段階に即して子ども達が越えなければならない、ちょっとしたから 大きなまで・・・様々な壁を乗り越えての運動会になりました。

運動会や青豊祭等、学校で行われる行事の大きなねらいは「集団効力感」の育成だと考えています。その力は将来的な問題解決能力に繋がっていきます。

中でも、生徒達が話し合って決める紅白応援合戦はそのものです。ちょうど20年前(驚愕!)先生はつくだけ、一切アドバイスをしない、発表に値するかどうかはテストを行う、という形でスタートさせました。意見の相違、まとまらない、誰かが泣き出す等等さまざまなドラマを経て、当日は素晴らしいパフォーマンスを披露する子ども達。勝っても負けてもすがすがしい笑顔と、自分達の力でここまでやった自信という宝物を手にするのです。今年もそうでした。

幼稚部のママを助けるという使命感のもと、勇気をもって戦った子ども達の表情は誇らしげだったし、自分の力でママを助けに掛けていきました。

小学部のダンスやワールドカップの練習風景は、自然と励まし合う声に満ちあふれていました。本番の心から楽しむ姿が印象的でした。



白組の笑顔

運動会が終わった後、学校は静かな祭りの後です。充実感にあふれたちょっと寂しげな子ども達の表情。特に、高等部3年生のみんなはいい表情をしています。ありがとう。いい思い出になったかな。

保護者の皆様からのお言葉にも励まされました。大きな行事が無事終了しましたことを感謝しております。

学部をこえて 心が一つに になりました。